

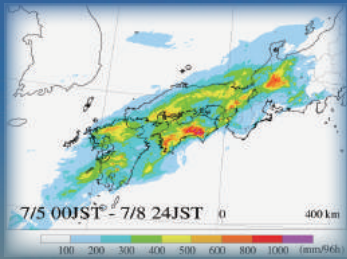
平成30年度

気象庁気象研究所 研究成果発表会

平成30年

11月10日
土曜日

～気象業務を支える研究の最前線～



2018年7月5日から8日までの96時間積算降水量 (mm)



司会：鈴江 奈々
(日本テレビアナウンサー)

気象庁の技術的な基盤を支える最新の研究をわかりやすく紹介します

講演題目

13:30 ~ 16:30 (開場 13:00)

- 1 気象業務を支える研究の最前線
隈 健一 (気象研究所長)
- 2 台風・集中豪雨研究の現状と課題
 - ① 平成30年台風第21号による強風・高潮 (速報)
高野 洋雄 (海洋・地球化学研究部 室長)
嶋田 宇大 (台風研究部 主任研究官)
 - ② 平成30年7月豪雨の局地的な特徴
清野 直子 (予報研究部 室長)
 - ③ 地球温暖化で変わりつつある日本の豪雨
川瀬 宏明 (環境・応用気象研究部 主任研究官)
- 3 次世代の火山監視
- 気象レーダーで視た桜島・新燃岳噴火 -
佐藤 英一 (火山研究部 主任研究官)
- 4 日本を取り巻く海の詳細な把握に向けて
- 海の「天気予報」の最前線 -
碓氷 典久 (海洋・地球化学研究部 主任研究官)

参加
無料

事前
申込

先着
400名

気象研



申込 URL : <https://www.omc.co.jp/mriseika30/>

会場

一橋大学 一橋講堂

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、
都営新宿線 神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩 4分
東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩 4分

